2023年9月4日(月)株式会社羽田未来総合研究所

島根の紅いぶどう〜神紅(しんく)〜 羽田空港「和蔵場」に3日間限定で初登場



株式会社羽田未来総合研究所(所在:東京都大田区、代表取締役社長執行役員 大西 洋)が運営する『食を通じて日本各地の魅力を伝える』ことをコンセプトとした羽田空港にある情報発信型カフェ"和蔵場~WAKURABA~"では、島根県と共同で、「神様が集まる国の紅いぶどう~神紅~販売フェア」を初開催します。当フェアでは、1 房単位の販売のほか、ギフト箱での粒販売や、店内カフェにて、試食プレート(有償)の提供や、島根県の特産品(のどぐろ、出雲そば、和菓子他)も販売いたします。

また、期間中は、神紅を活用したまちづくりを行っている島根県邑南町(おおなんちょう)の農業研修生による販売体験も行います。

- ・販売期間:2023年9月8日(金)~10(日)
- ・場所:羽田空港第2ターミナル1階到着ロビー「和蔵場」ショップ

【フェア内容】

- ・1 房単位の販売
- ・ギフト箱での粒販売
- ・店内カフェにて、神紅を使用したワンコインメニュー"神紅お試しプレート 500円(税込)"の販売
- ・島根県の特産品(のどぐろ、出雲そば、和菓子他)の販売
- ・島根県邑南町の農業研修生による神紅の販売体験

©2019 Haneda Future Research Institute Incorporated.







1房販売:6,000円(税込) ギフト箱粒販売:5粒、1,080円(税込)

試食プレート:500円(税込) ※画像はイメージです。

【神紅について】

- ・全国から神様が集まるとされる島根県。 神の国・神話の国として知られている島根県において、香り良い シャインマスカットと赤いベニバラードを掛け合わせて開発された、島根県オリジナル品種です。
- ・2007年から研究を続け、20度以上の高糖度と豊潤で清らかな味わいを実現した「神紅」は、まだ、年間の生産量が僅かですが、種もなく、皮ごと味わえ、鮮やかな紅色の果皮が特徴です。

【島根県邑南町(おおなんちょう)の農業研修生について】 島根県独自のブドウ品種「神紅(しんく)」の産地化を目指す島根県邑南町から、 神紅の栽培を目指す移住者等で構成された農業研修生が、期間中、和蔵場で神紅の 販売体験を行います。



【店舗概要】

営業時間:12:00~20:00 (L.O 19:00)

※営業日および営業時間は、変更となる場合がございます。

場 所:羽田空港第2ターミナル1階到着ロビー「和蔵場(わくらば)」

電話番号:03-6459-9565

概 要:店名の WAKURABA は「邂逅(かいこう)」と

書いて"思いがけない出会い"という意味がこめられています。『味わいからその土地を知り、訪れたくなるように。これから訪れる土地をもっと楽しめるように。人と地域を結びつけたい』そんな願いから羽田空港に生まれました。地域の魅力も併せて体感できるように特産品や

伝統工芸品など展示・販売できる PR スペースを 設置し、食をきっかけにお客さまと地域をつなぎます。





本件に関する報道機関からのお問い合わせ:株式会社羽田未来総合研究所 広報・PR室 TEL:03-5757-8070 Email:press@hfri-co.com